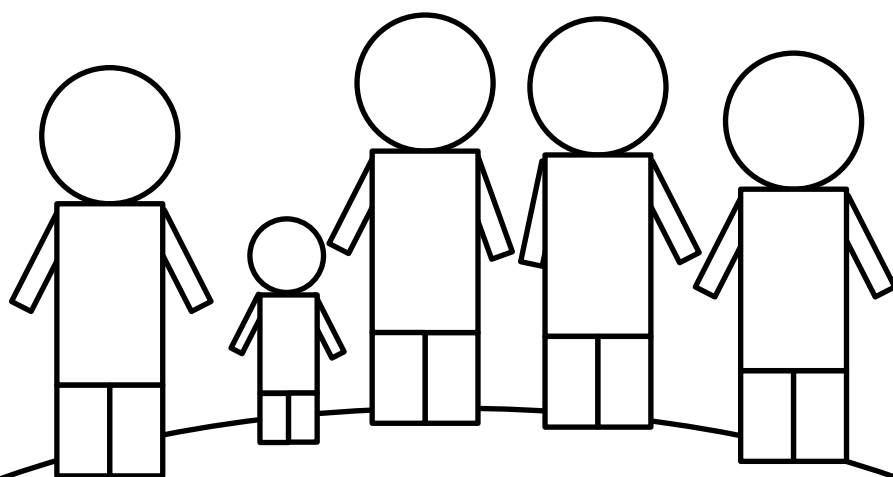


自分らしく



男女共同参画とは・・・

花男子×建築女子×大学生



■花は女性、建築は男性というイメージがどうしてもあるのですが、そこは気になりませんでしたか？

近藤：お花屋さん＝女性っていう世の中のイメージがあるじゃないですか。だからこそ逆に男性がやるとギャップがあってカッコいいと思うんですよ。そのギャップに一つの個性が生まれて、強みになると思います。

学生：たしかに男性が花を持っている姿はギャップがあってカッコいいと思います。加藤さんはどうでしたか？

加藤：そこは全然気にしていませんでしたね。建築というお仕事は、自分が強く「就きたい」と思った職業でしたから。それに自分が負けず嫌いで、「男性ができることが女性にできないわけがない！」と考えるくらいなので。でも、いまだに世の中には「女性だから」という目線で見られることがあるので、そこは悔しいなと思います。

■男女平等な社会が実現されるためにはどうしたら良いと思いますか？

近藤：女性と男性と違って仕方なく現場を抜けること、赤ちゃんを育てるために会社を休むことがありますよね？この部分をカバーし合える社会にならなければいけないですね。あと、差別はだめだけど区別をつけること、適材適所をきちんと考えることは大事だと思います。

学生：

加藤：職場としては、女性が意見を言える雰囲気かどうかがとても大事だと思いますね。そういう雰囲気があると、例えば出産の時も「出産後は仕事に戻りたいです」と自分の意見を言えるだろうし、職場の環境が良くなるんじゃないかと思います。



(様々なことを経験して
自信を付ける！！)

仕事内容

私は花に関わる仕事をしています。最近では、花男子プロジェクトという活動に力を入れており、全国でパフォーマンスをしています。花の文化を普及させたい、この業界をさらに盛り上げたいという思いで活動を行っています。

きっかけ

中学時代は花屋さんになりたいという気持ちは全くなく、社長になりたい！というのが小さい頃からの夢でした。でも、高校2年生の時に母から「この家も花屋っていう会社だから、社長になれるよ」と言われ、そこから花屋さんも考えるようになりました。



花男子プロジェクト 代表
近藤祐司さん

やりたいことをやるべき
男女は関係ない！

仕事内容

専門は建築ですが、現在は公園の管理をしています。長久手市内にある公園の維持管理、遊具修理の依頼など、住民の方からのお声に応えられるように対応させていただいています。

きっかけ

高校に進む時に、部活が強い所という選び方をしました。様々な学科がある中で、先生から「部活をやりたい人は建築学科に入ればテストが少ないよ」という話を聞いて、これは建築学科しかない！と思い、選択しました。ですが、製図を引き、自分が描いたものが模型となって形になるのが楽しくなり、段々とのめり込むようになりました。

長久手市役所建築部都市計画課
加藤朋香さん



マンガで学ぶ「男女共同参画」

男性社員：子どもが生まれました！

上司：おめでとう！

男性社員：そこで、育児休暇を取りたいのですが...

上司：育児休暇！？
それは女性を取るものだろうか？？

仕事は共働きが増えているのにまだまだ、育児は女性のものというイメージが残っています。

※イラスト入ります

僕の夢はCAになること

友達：CAって女性の仕事でしょ？

僕：確かに女性は多いけど男性でもなれるんだ！

CAになった僕：まだまだ女性の仕事というイメージが強いけどなろうと思って頑張れば、なれる職業も増えてきているんだ！！

※イラスト入ります

男性で珍しい仕事	女性で珍しい仕事
客室乗務員 化粧品会社 バスガイド	消防士 警察官

発行